

# 医療保健学 研究科 医療保健学 専攻

修士課程 2025年4月開設予定

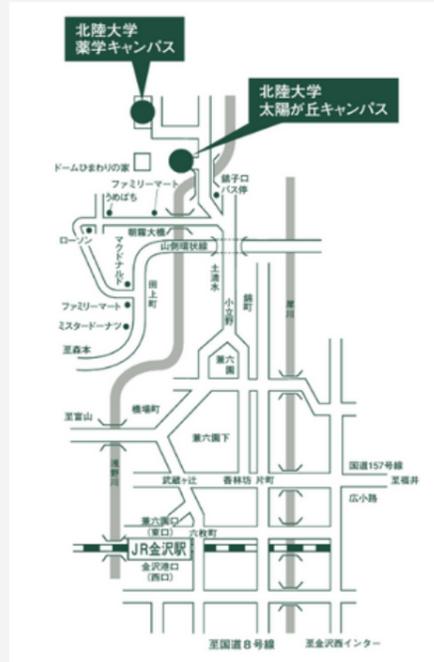
(仮称/設置認可申請中)

Master's Program,  
Hokuriku University Graduate School

## ACCESS 太陽が丘キャンパス 〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1

■路線バス バス停「北陸大学太陽が丘」まで約30分  
金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから、北陸大学へ向かうバス乗り場が2つあります。  
▶金沢駅兼六園口（東口）6番乗場 北陸大学行  
▶7番乗場 福福・北陸大学行

■自動車 高速道路をご利用の場合：金沢森本ICより約30分  
金沢外環状道路を金沢市街方面へ進みしばらく直進。田上町(交差点)を左折、県道209号線へ。苗町(交差点)を左折、県道10号線を進むと案内看板があります。  
タクシーをご利用の場合：JR金沢駅から通常25分程度



### お問い合わせ

北陸大学 企画部  
(石川県金沢市太陽が丘1-1太陽が丘キャンパス)  
TEL: 076-229-1161 (代表)



OFFICIAL HP  
hokuriku-u.ac.jp



# 高度な専門知識と研究能力・実践力を身につけ、 質の高い医療を提供できる高度専門職業人を養成する。

## 概要

学位	修士（医療保健学）	開設時期	2025（令和7）年4月1日
修業年限	2年 ※長期履修制度あり	開設場所	北陸大学太陽が丘キャンパス (石川県金沢市太陽が丘1丁目1番地)
入学定員	3人（収容定員6人）		

## 教育理念

健康社会の実現に貢献できる高度な医療技術者の養成をととして、地域社会の保健・医療・福祉の向上に寄与する。

## 人材養成の目的

医療保健学に関する高度な専門知識と研究能力・実践力を身につけ、質の高い医療を提供できる高度専門職業人を養成する。

## 担当教員の研究テーマ

受入可能な研究テーマは、「**■**：臨床検査学領域」と「**■**：理学療法学領域」になります。

「臨床検査学」「検査血液学」「多職種連携」の領域において、医療保健学教育の発展に資する教育プログラム及び教材の開発、実践ならびにその評価に関する研究

個人特性を考慮した臨床検査値の生理的変動要因の解析、もしくは香りに反応する自律神経系の関係について

物質的な基盤に立ち、生物化学的な側面から、医療技術の開発にかかわる研究

分子病理学的手法を用いた、液状化検体細胞診の診断精度向上とがんゲノム医療への応用

フラビウウイルスの感染やワクチンで誘導される免疫応答、人獣共通感染症の診断及び予防に関する課題調査・研究

尿中赤血球の量的及び形態的検討から腎尿路系の病態情報としての有用性の検討について

中枢神経疾患（脳卒中、脳性麻痺）などの歩行や動作におけるバイオメカニクスや中枢処理過程の特徴を把握し、機能改善のメカニズムの解明に向けた理学療法、また、得られた知見を基に遠隔での運動指導やリハビリテーション関連機器の開発及びその社会実装

スポーツ外傷・障害、運動器疾患の機能障害や動作障害を理解し、障害の発生や予防とその改善に向けた理学療法に関する研究

腰痛や慢性足関節不安定症等の筋骨格系障害を中心に、病態の解明、発症・再発予防や進行抑制・改善に向けた理学療法についての研究

脳の正常機能あるいは脳卒中などによる脳機能障害の病態・発症メカニズム・治療・発症予防などについて

サルコペニアの病態解明とその治療戦略の基盤構築について

高齢者の心身機能の低下や能力障害発生のメカニズムの解明や発症予防及び疾患の進行予防に向けた理学療法に関する研究

リハビリテーション医学における疾病の機能障害の捉え方と生活の質（QOL）との関連性について

加齢による身体機能の変化及び腎疾患や糖尿病、末梢循環障害に起因する機能障害について理解を深め、それらの予防や治療に関する研究

スポーツ外傷・障害、運動器疾患全般の機能障害や動作の変化を理解し、受傷メカニズムの解明、競技復帰、受傷予防に向けた理学療法に関する研究

## アドミッション・ポリシー

本研究科では、以下の能力、目的意識・意欲を持った人を広く受け入れる。

- 1) 臨床検査学、理学療法学及び関連領域の基礎的な知識・技術を有している人
- 2) 高度専門職業人として、研究活動や医療技術の提供を通じて、健康社会の実現に貢献したいという意欲がある人
- 3) 自己及び他者を尊重し、優れたコミュニケーション能力を有する人

## カリキュラム・ポリシー

本研究科では、人材養成の目的を達成するため以下の方針に基づいて教育課程を編成する。

- 1) 高度専門職業人として基礎となる医療保健学の幅広い知識と倫理観を修得するとともに、人体の機能を多面的に理解するために、「基盤科目群」「専門科目群（共通科目）」を配置する。
- 2) 保健医療における課題及び臨床検査学、理学療法学の最新の研究動向を理解する能力を修得するために、「専門科目群（領域科目）」に各領域の専門的知識を修得する特論科目、技術の応用・実践力を修得する演習科目を配置する。
- 3) 医療保健学の高度な専門的知識・技術を用い、新たな知見に繋がる研究能力を修得するために、「特別研究」を配置する。

## 研究活動の流れ

1年次生	前期	研究指導教員及び研究課題の決定 希冀する研究領域と研究課題から、研究指導教員との面談を通して、必要な授業科目について履修計画を立てます。 研究計画の立案 研究指導教員より研究計画の立案について指導を受けながら、修士課程研究計画書を提出します。
	後期	研究活動（予備実験・調査等） 研究計画書に従い、文献調査、先行研究の整理、仮説の設定等を進めながら、具体的な研究方法について検討します。
2年次生	前期	研究活動（データ収集・解析等） 本格的に研究活動を進め、中間発表会に向けて研究成果をまとめていきます。
	後期	中間発表会 これまでの研究成果を発表し、主査及び副査からの指摘を踏まえ、研究発表会に向けて修士論文の作成を進めます。 研究発表会 中間発表会で指摘された問題点等への対応を含め研究発表を行います。 修士論文の審査、最終試験の合格判定 修士論文の審査と最終試験（口頭試験）、単位取得状況により、「修士（医療保健学）」の学位を授与します。

## 開講予定科目

基盤科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療保健学特論</li> <li>■ 医療保健学研究法特論</li> <li>■ 地域医療連携特論</li> <li>■ 医療統計学特論</li> <li>■ 健康心理学特論</li> <li>■ 疾患薬理学特論</li> <li>■ 病態生理学特論</li> <li>■ 健康医科学特論</li> <li>■ 教育学特論</li> <li>■ 教育方法学特論</li> </ul>
共通科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人体機能学特論・演習</li> </ul>
専門科目群	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 病態分析検査学特論・演習</li> <li>■ 感染制御学特論・演習</li> </ul>
理学療法学領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運動機能回復学特論・演習</li> <li>■ 生活機能回復学特論・演習</li> </ul>
特別研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療保健学特別研究</li> </ul>

## 入学者選抜の概要

本研究科では、4年制大学卒業のほか、短期大学や専修学校の卒業生で一定の要件を満たした者に個別の入学審査を行ったうえで出願資格を与え、学修に対する意欲を持つ者に対し、門戸を広げる。

一般選抜	筆記試験（外国語（英語）、面接（口述試験を含む）、出願書類（志望理由書等）等による総合判定とする。	社会人選抜	面接（口述試験を含む）、出願書類（志望理由書等）等による総合判定とする。
------	---	-------	--------------------------------------

## 学費

入学金	授業料	初年度合計	2年間合計	<b>独自奨学金制度</b> ・本学卒業生に対する入学金免除 ・成績優秀者奨学金 等
200,000円	740,000円	940,000円	1,680,000円	

※ 仮称/設置構想中 大学院設置は計画中であり、研究科・専攻名称・授業料等の内容については変更となる場合があります。

